

## 11 月 3 日 : 流動性低下懸念とともに続落

木曜日は市場への資金流入トレンドに対する懸念とともに幅広く売りが広がり、続落した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.33% 下落し、1,019.81 ポイントで引けた。同指数は前日、1.02% 下落していた。

166 銘柄が上昇したのに対し 274 銘柄が下落し、幅広い銘柄が売られた。

前日に比べ流動性も低下し、ホーチミン取引所の出来高は 4 億 4,290 万株、売買代金は 7.9 兆ドン（約 4 億 2 百万米ドル）だった。

SSI 証券のレポートによると、ETF を通じた株式市場への資金流入が減速しているとのことだ。

8 月と同様、Fubon FTF、FTSE ベトナム ETF などの外国ファンド、SSI の VN FINLEAD ETF などの国内ファンドでは、資金流出トレンドが継続している。特に、Fubon ETF は買い越し額が 1,290 億ドンで 8 月比で 50% 減少、FTSE ベトナム ETF は買い越し額が 770 億ドンで同 88% 減少、SSI VN FINLEAD ETF は買い越し額が 380 億ドンで同 73% 減少などとなっている。

ベンチマークとなる指数の下落は大型株の影響を大きく受け、VN 30 指数は 0.13% 下落し 1,023.80 ポイントで引けた。12 銘柄が上昇、16 銘柄が下落、2 銘柄は変わらずだった。

VN 30 指数の中では、銀行などの大型株の下落が著しかった。ミリタリーバンク (MBB)、TP バンク (TPB)、ベトナムバンク (VCB)、BIDB バンク (BID)、ベッティンバンク (CTG)、ベトナム国際バンク (VIB)、サイゴン・ハノイコマーシャルバンク (SCB) などは皆大幅に下落した。

上昇したのはテックコムバンク (TCB) とサコムバンク (STB) のみだった。

ペトロリメックス(PLX)、PV パワー(POW)、ペトロベトナム技術サービス(PVS)、ペトロベトナム・ドリリング(PVD)などのエネルギー株も軟調だった。

ホーチミン取引所で外国人投資家は 2,512 億ドンを売り越し、主なものとしてホアファット (HPG) 1,801 億ドン、キンバックシティ (KBC) 882 億ドン、PV ガス (GAS) 428 億ドンなどが目立った。外国人投資家はハノイ市場では 2 億 50 百万ドンを買い越した。セクター別では、25 セクターのうち銀行、卸売、ゴム製造、物流、不動産、証券を含む 14 セクターが下落した。反対に保険、小売、建設、食品・飲料は上昇した。

ハノイ取引所では、HNX 指数 0.43% 下落し 210.74 ポイントで引けた。出来高は 3,720 万株、売買代金は 5,350 億ドンだった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。